

運転実績データ (7) [一次エネルギー量・温熱環境]		
	⑱ 一次エネルギー量	⑳ CO2 排出量
平成22年	<p>2010年合計 11,305 GJ/年</p> <p>※その他 電気：AHU・FCU・照明・EV・OA 機器等</p>	<p>2010年合計 472.6 t-CO2/年</p> <p>※その他 電気：AHU・FCU・照明・EV・OA 機器等</p>
平成23年	<p>2011年合計 9,042 GJ/年</p> <p>※図中の値は2010年合計に対する割合</p>	<p>2011年合計 377.0 t-CO2/年</p> <p>※図中の値は2010年合計に対する割合</p>
考察	<p>✓2010年の合計一次エネルギー量は11,305GJ/年に対して、2011年は9,042GJ/年であり、約20%の一次エネルギー量の削減が図れた。</p> <p>✓2010年は全体に対して約65%がその他(AHU・FCU・照明・EV・OA機器等)を占めていたが、2011年は約55%となり、結果として約10%の削減となった。この結果は、純粋に照明の高効率機器(LED化)への変更、不要照明消灯の徹底(人感センサの採用や間引き)、エレベータの間引き運転など施主側とテナント側の協力による運用改善によるものである。</p> <p>✓空調用の削減量は約10%であり、省エネや運用改善の効果が得られた。</p> <p>※一次エネルギー量換算値：電気(9,760kJ/kWh)、都市ガス(45,000kJ/m³)</p>	<p>✓2010年の合計CO2排出量は472.6t-CO2/年に対して、2011年は377.0t-CO2/年であり、約20%のCO2排出量の削減が図れた。</p> <p>✓2010年は全体に対して約62%がその他(AHU・FCU・照明・EV・OA機器等)を占めていたが、2011年は52%となり、結果として約10%の削減となった。</p> <p>✓空調用の削減量は約11%であり、省エネや運用改善の効果が得られた。</p> <p>✓室内温度緩和による負荷低減と2台運転の抑制によりガス消費量も少なくなり、結果としてガス使用量の低減によりCO2排出量は約6%削減した。</p> <p>※CO2排出量換算値：電気(0.386kg-CO2/kWh)、都市ガス(2.28kg-CO2/m³)</p>